



海中だより

海中便り第419号
常総市立水海道中学校
令和2年9月15日発行
責任者 服部 仁一

「挑戦」と「絆 (コミュニケーション)」



今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、いくつかの学校行事が中止や縮小になりました。また、休校措置を補うため、夏休みも短縮されました。そして、本来なら夏休みだった8月後半は、記録的な猛暑の中マスクをつけた学校生活を余儀なくされました。そんな中でも、海中生は力強く前向きに努力しています。運動会も開催するにはいろいろな困難がありましたが、みんなで知恵を出し合い、数々の問題点を克服し、クラス、学年、学校、保護者が一致団結し、開催が実現しました。今年度初めての、全校生徒による学校行事でした。お互いの絆を深め合いながら、過去にない歴史的な挑戦をみんなの力で成功させることができました。海中魂で、コロナ禍だからこそ感じられる感動的な運動会、感動的な思い出をつくることのできたのではないのでしょうか。

校長 服部 仁一



雲外蒼天～君の熱い思いは自粛するな～

自分たちで企画し、準備し、仲間とともに練習に汗を流してきた、この海中運動会が無事終了しました。今年度の運動会のテーマにもあるように、クラスや個人の熱い思いは自粛せずに出し切れたでしょうか。学級が1つになり、絆が深まったことかと思えます。次は、海輝祭があります。運動会で深まったクラスの絆を、海輝祭でも発揮しましょう。今回の運動会は、保護者の皆様のご協力により、時間通り開催することができました。また、生徒への心の中でのご声援、感染拡大防止のためのご協力、ありがとうございました。

生徒会長 3年2組 木村 勇太



運動会のひとこま



クラスの団結が感じられた、熱い1日でした！



海中ソーラン!

